

静岡県庵原郡由比町寺尾の地すべり

静岡測候所

表題の地（東海道線由比駅西方500mの附近）に1948年6月19日地すべりがあつた。

地 形 海拔300mの山が駿河湾に面する急傾斜地（傾斜25~30°）で、地すべりの頂は海拔100mであり、この附近は30年生の松林で、少し下はミカン畑である。（5万分の1地形図—吉原—参照）

地 質 基盤は第三紀の粘板岩で、その上部に粘土層（厚さ1m以下）、最上部は砂礫層（1~2m）となつている。

地すべりの規模 地すべり面積は約4町歩（4ヘクタール）で、地すべりによつて埋没した果樹園は約20町歩（20ヘクタール）である。なお、この地点には数年前にも大雨で地すべりの起つたことがある。

考 察 この地すべりは6月19日の大雨（19日の雨量140mm、12日から21日までの総雨量342mm）に際し、基盤に関係のない表土層がすべつたものと思われる。

追 記 今回の雨で表題の地以外にも、安倍川上流などで数箇所土砂が崩れかいた。

